

# **歩行空間ネットワークデータ整備仕様案**

**平成 22 年9月**

**国土交通省**

## 歩行空間ネットワークデータ整備仕様案 目次

1. はじめに.....	3
1. 1 目的.....	3
1. 2 適用範囲 .....	3
2. 歩行空間ネットワークデータの整備仕様 .....	4
2. 1. ネットワークデータの整備仕様 .....	4
2. 1. 1 一般 .....	4
2. 1. 2 ネットワークデータの対象.....	4
2. 1. 2. 1 ネットワークデータの構成 .....	4
2. 1. 2. 2 リンクの種類.....	4
2. 1. 2. 3 リンクの取得.....	5
2. 1. 2. 4 ノードの配置.....	5
2. 1. 3 経路情報等.....	6
2. 1. 3. 1 リンクの属性情報と経路情報.....	6
2. 1. 3. 2 ノードの属性情報 .....	9
2. 1. 4 ネットワークデータの作成方法とデータ形式.....	9
2. 2. 施設データの整備仕様 .....	10
2. 2. 1 一般 .....	10
2. 2. 2 対象とする施設および情報.....	10
2. 2. 3 施設データの作成方法とデータ形式 .....	14
2. 3 出入口情報の整備仕様 .....	15
2. 3. 1 一般 .....	15
2. 3. 2 対象とする施設および情報.....	15
2. 4 描画地図の整備仕様.....	16
2. 4. 1 一般 .....	16
2. 4. 2 作成箇所 .....	16
2. 4. 3 作成方法 .....	16
2. 5. 基盤地図データの整備仕様 .....	17
2. 5. 1 一般 .....	17
2. 5. 2 作成箇所 .....	17
2. 5. 3 作成方法 .....	17
2. 6. 引用規格.....	18
3. 各種データ作成に当たっての留意点 .....	19

## 【参考資料】

参考	歩行空間ネットワークデータの作成例 .....	30
参考1	ネットワークデータ .....	31
参考2	施設データ .....	33
参考3	出入口情報 .....	37
参考4	描画地図.....	38
参考5	利活用のイメージ図 .....	39

## 1. はじめに

### 1. 1 目的

歩行空間ネットワークデータを整備し、広く一般に公開することで、バリアフリーマップの作成や、バリアフリー経路検索並びに移動案内サービスの提供が可能となり、高齢者、障害者等の移動制約者の利便性の向上が期待される。このため「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案（以下、本書という）」は、歩行空間のネットワークデータを均質かつ効率的に整備することを目的に、その整備内容及びデータ構造を定めたものである。

### 1. 2 適用範囲

本書は、歩行空間ネットワークデータの整備時に適用する。

## 2. 歩行空間ネットワークデータの整備仕様

### 2. 1. ネットワークデータの整備仕様

#### 2. 1. 1 一般

本項は、ネットワークの構成状況に関する情報（以下、「ネットワークデータ」という）、および歩行経路の状況を表現するためネットワークデータに付与されるデータ（以下、「経路情報」という）に関する基礎的な仕様を定めたものである。

#### 2. 1. 2 ネットワークデータの対象

対象とする歩行空間は、道路、広場、公園通路等の公共空間、および駅構内の通路とする。

#### 2. 1. 2. 1 ネットワークデータの構成

ネットワークデータは、歩行経路を示す「リンク」、およびリンクの結節点である「ノード」によって構成する。

#### 2. 1. 2. 2 リンクの種類

リンクの種類は下記の通りとする。

##### 1) 道路・通路

駅構内を含む道路、および専ら歩行者の通行の用に供するための通路。

##### ア) 歩道

専ら歩行者の通行の用に供するために、縁石又はさくその他これに類する工作物により区画して設けられる道路の部分。

##### イ) 歩行者専用道路

歩道のうち、歩行者専用のもの。（階段は含まない。）

##### ウ) 園路

公園・自然公園等の内部に設けられた歩行者専用道路等。（階段は含まない。）

##### エ) 歩車共存道路

縁石又はさくその他これに類する工作物により区画されていない道路。

##### オ) 横断歩道

車道部のうち、主に交差点付近で歩行者が横断するために路面標示で区分された部分。

##### カ) 横断歩道の路面標示の無い交差点の道路

車道部のうち、主に交差点付近で歩行者が横断するための路面標示の区分は無いが、頻繁に歩行者が横断している部分。

##### キ) 動く歩道

歩道のうち、連続的に平らな踏み面を持ったベルトコンベアに類似したスロープで構成される自動装置を有するもの。

##### ク) 自由通路

主に鉄道駅における、通路が交差する場所や大通路、中央広場など。

##### ケ) 踏切

鉄道と交差する道路の部分で、道路と鉄道敷地の境界線によって構成される部分。

## 2) 昇降施設

道路・通路のうち、垂直方向に移動することを目的に設置される施設。

### ア) エレベーター

人や荷物を載せた箱を垂直に移動させる昇降機。

### イ) エスカレーター

主として建物の各階を移動する目的で設置・利用される階段状の昇降機。

### ウ) 階段

階段。

### エ) スロープ

進行方向に勾配を持つ道路または通路。

## 2. 1. 2. 3 リンクの取得

リンクの取得は以下による。

- 1) 道路（歩道および歩車共存道路）については、歩道が設置されている場合は当該歩道を歩行経路としてリンクを取得する。ただし、中央線がある道路は、歩道が設置されていない道路側端部についても歩行経路としてリンクを取得する。なお、中央線がない歩車共存道路については、道路の中心線を歩行経路としてリンクを取得する。
- 2) 踏切については、当該道路部分の構造により、前記に基づき取得する。
- 3) エレベーター、エスカレーターについては、起終点となる位置・階層間を直線で連結するリンクを取得する。
- 4) その他のリンク種別については、実際の歩行経路に沿ってリンクを取得する。

## 2. 1. 2. 4 ノードの配置

ノードは以下の地点に配置する。

- 1) 経路の交差・分岐点  
リンクが交差・分岐する箇所。
- 2) 経路属性の変化点  
リンクの種類が変化する区間が存在する場合、変化する点。  
(スロープの起終点や構造物の変化点、上り下り等の縦断勾配の変化点、おどり場の変曲点等)
- 3) 公共施設等の出入口  
2. 2. 2に示す公共施設等の出入口が存在する点。

## 2. 1. 3 経路情報等

### 2. 1. 3. 1 リンクの属性情報と経路情報

リンクに対して設定される属性情報は以下の項目とする。

表 2. 1 リンクの情報

項目名	形式	内容
リンク ID	文字列	リンク ID
起点ノード ID	文字列	起点のノード ID
終点ノード ID	文字列	終点のノード ID
経路の種類	コード	1：歩道、2：歩行者専用道路、3：園路、4：歩車共存道路、5：横断歩道、6：横断歩道の路面標示の無い交差点の道路、7：動く歩道、8：自由通路、9：踏切、10：エレベーター、11：エスカレーター、12：階段、13：スロープ、99：不明 ※ 地域特性や公共空間の利用状況に応じ、以下の経路の種類を追加できるものとする。 15：商店街、16：商店街入口、17：広場等最短リンク、18：広場等混雑回避リンク、19：観光ルート、20：雪や雨回避

経路の条件（幅員、段差等）を示す経路情報はリンクに対して設定し、リンク内の最も厳しい条件（幅員最小値、段差最大値等）をもってリンク全体の経路情報とする。

リンクに対して設定される経路情報は以下の項目とする。

**表 2. 2 リンクに対して設定される経路情報**

項目名	形式	内容
供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
供用終了時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス終了時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
供用開始日	文字列	道路・通路の供用開始前にネットワークデータを構築する場合、供用開始日を記入。供用中の通路の場合、省略。書式は、「YYYY（西暦） MM DD」の半角スペース区切り。
供用終了日	文字列	道路・通路の供用終了が予定されている場合、供用終了日を記入。供用終了が予定されていない場合、省略。書式は、「YYYY（西暦） MM DD」の半角スペース区切り。
供用制限曜日	文字列	供用曜日制限のある場合、供用しない曜日を記入。供用曜日制限のない場合、省略。曜日を数字に変換（1：月曜日～7：日曜日）し、複数曜日ある場合は数字の小さい順に続けて表記。
方向性	コード	0：両方向、1：起点より終点方向、2：終点より起点方向、9：不明
通行制限	コード	0：自由に通行できる、1：通り抜けが好ましくない（プライベート空間）通路、2：料金の支払いが必要、9：不明
有効幅員	コード	0：1.0m 未満、1：1m 以上 1.5m 未満、2：1.5m 以上 2.0m 未満、3：2.0m 以上、9：不明 （当該リンク内の最小有効幅員（放置自転車等の可搬物を除く）をもって評価する。ただし、電柱、車止め等による局所的な幅員の減少で、かつ 1m 以上の幅員が確保されている場合は、局所的幅員減少区間以外の最小有効幅員とする。）
有効幅員緯度	文字列	最小有効幅員の箇所の緯度 小数点形式（DD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
有効幅員経度	文字列	最小有効幅員の箇所の経度 小数点形式（DDD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
縦断勾配 1	数値	リンク内の勾配の最大値を整数で表記（数量は%）
縦断勾配 1 緯度	文字列	リンク内の縦断勾配の最大値の箇所の緯度 小数点形式（DD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
縦断勾配 1 経度	文字列	リンク内の縦断勾配の最大値の箇所の経度 小数点形式（DDD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
縦断勾配 2	コード	0：手動車イスで自走困難な箇所なし、1：手動車イスで自走困難・電動車イスでは走行可能な箇所あり、2：電動車イスでも走行困難な箇所あり
横断勾配	数値	リンク内の勾配の最大値を整数で表記（数量は%）
横断勾配緯度	文字列	リンク内の横断勾配の最大値の箇所の緯度 小数点形式（DD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
横断勾配経度	文字列	リンク内の横断勾配の最大値の箇所の経度 小数点形式（DDD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
路面状況	コード	0：通行に問題なし、1：土、2：砂利、3：その他、9：不明
段差	コード	0：2cm 未満、1：2～5cm、2：5～10cm、3：10cm 以上、9：不明 （当該リンク内の最大段差をもって評価）
段差緯度	文字列	リンク内の最大段差箇所の緯度 小数点形式（DD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
段差経度	文字列	リンク内の最大段差箇所の経度 小数点形式（DDD° MM' SS" SSSS）とする（座標系は世界測地系とする）
最小階段段数	数値	階段段数を整数で表記。なお、場所により段数が異なる場合には最小階段段数を表記。
最大階段段数	数値	場所により段数が異なる階段の最大階段段数を表記。なお、全ての場所で同じ段数の場合には記載不要。
手すり	コード	0：なし、1：右側にあり、2：左側にあり、3：両側にあり、9：不明 （方向は起点側から見た方向）

屋根の有無	コード	0：なし、1：あり、9：不明
蓋のない溝、水路の有無	コード	0：なし、1：あり、9：不明
バス停の有無	コード	0：なし、1：あり、9：不明
バス停の緯度	文字列	リンク内にバス停が存在する場合の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
バス停の経度	文字列	リンク内にバス停が存在する場合の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
視覚障害者誘導用 ブロック	コード	0：視覚障害者誘導用ブロックの設置なし 1：縦断方向に敷設され視覚障害者の誘導が可能、9：不明
補助施設の設置状況	コード	0：なし、1：車イスステップ付きエスカレーター 2：階段昇降機 3：段差解消機 4：音声案内装置 6：その他の補助施設、9：不明 (人的介入施設は対象としない)
補助施設の緯度	文字列	リンク内に補助施設が存在する場合の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
補助施設の経度	文字列	リンク内に補助施設が存在する場合の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
エレベーター種別	コード	0：障害対応なし、1：点字・音声あり、2：車イス対応、3：1・2両方、9：不明
エレベーターの緯度	文字列	リンク内にエレベーターが存在する場合の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
エレベーターの経度	文字列	リンク内にエレベーターが存在する場合の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
信号の有無	コード	0：信号なし 1：時差式信号あり 2：押しボタン式信号あり 3：これら以外の信号、9：不明
信号の緯度	文字列	リンク付近に信号が存在する場合の信号の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
信号の経度	文字列	リンク付近に信号が存在する場合の信号の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
信号種別	コード	0：音響なし、1：音響あり、9：不明
日交通量	数値	日交通量を整数で表記 (センサス対象区間のみ記載、非対象区間は未記載)
主な利用者	コード	0：歩行者、1：車両
通り名称または交差点名称	文字列	通称名がある場合は記入 (リンクが交差点の場合は、交差点名称を記入)
エスコートゾーン	コード	0：なし、1：あり、9：不明 (リンクが交差点の場合に記入)
リンク延長	数値	リンクの延長を10cm単位で記載 (例：5.2m) (経路の種類がエレベーターの場合には記載不要)

### 2. 1. 3. 2 ノードの属性情報

ネットワークのノードに対して設定される属性情報は以下の項目とする。

表 2. 3 ノード情報

種別	項目名	形式	内容
一般	ノードID	文字列	ノードID
	緯度経度桁数コード	コード	1: 1/10 秒単位、2: 1/100 秒単位、3: 1/1,000 秒単位のいずれか
位置情報	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	高さ	文字列	階層数(中間階は、「●.5」、屋外は「0」を記入)
	接続リンクID	文字列	接続するリンクIDを記入

### 2. 1. 4 ネットワークデータの作成方法とデータ形式

- (1) データは、「参考 歩行空間ネットワークデータの作成例」に示す表形式及びテキスト形式の様式を参照し、GML形式及びCSV形式で作成するものとする。

**留意点：**

**ネットワークデータ更新の考え方**

構造物の改良をはじめ、バリアフリー化の推進等により、歩行空間の実際とネットワークデータとの差異が生じた場合は、改良や変更のなされた区間にあたるリンクとリンク起終点のノード2点をセットに、データの再作成を行うものとする。

## **2. 2. 施設データの整備仕様**

### **2. 2. 1 一般**

本項は、公共施設等に関するデータの基本的な仕様を定めたものである。

### **2. 2. 2 対象とする施設および情報**

対象とする施設は、「公共施設」「病院」「公共用トイレ」「指定避難所」とする。  
情報項目は表.2.4～表 2.7 に示す通りである。

表 2. 4 公共施設の情報

種別	項目名	形式	内容
公共施設	施設 ID	文字列	施設 ID
	名称	文字列	施設の名称
	所在地	文字列	施設の所在地
	電話番号	文字列	施設の電話番号
	緯度経度桁数 コード	コード	1 : 1/10 秒単位、2 : 1/100 秒単位、3 : 1/1,000 秒単位の いずれか
	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	階層	文字列	階層数
	供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、供用開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
	供用終了時刻	文字列	供用時間制限のある場合、供用終了時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
	供用制限曜日	文字列	供用曜日制限のある場合、供用しない曜日を記入。供用曜日制限のない場合、省略。曜日を数字に変換(1 : 月曜日~7 : 日曜日)し、複数曜日ある場合は数字の小さい順に続けて表記。
	多目的トイレ	コード	0 : なし、1 : あり (オストメイト対応なし)、2 : あり (オストメイト対応あり)

表 2. 5 病院の情報

種別	項目名	形式	内容
病院	施設 ID	文字列	施設 ID
	名称	文字列	施設の名称
	所在地	文字列	施設の所在地
	電話番号	文字列	施設の電話番号
	緯度経度桁数 コード	コード	1 : 1/10 秒単位、2 : 1/100 秒単位、3 : 1/1,000 秒単位の いずれか
	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	階層	文字列	階層数
	診療科目	文字列	1 : 内科、2 : 小児科、3 : 外科、4 : 産婦人科、8 : その 他 複数科の場合は数字の小さい順に続けて表記
	休診日	文字列	休診日のある場合、休診する曜日を数字に変換(1 : 月曜 日~7 : 日曜日)し、複数曜日ある場合は数字の小さい順 に続けて表記(診療科目ごとに休診日が異なる場合は別 施設とする)
	多目的トイレ	コード	0 : なし、1 : あり (オストメイト対応なし)、2 : あり (オストメイト対応あり)

表 2. 6 公共用トイレの情報

種別	項目名	形式	内容
公共用トイレ	施設 ID	文字列	施設 ID
	緯度経度桁数 コード	コード	1: 1/10 秒単位、2: 1/100 秒単位、3: 1/1,000 秒単位のいずれか
	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	階層	文字列	階層数
	男女別	コード	1: 男、2: 女、3: 共用 (男女別の場合は施設を 2 つに分ける)
	有料無料の別	コード	1: 無料、2: 有料
	多目的トイレ	コード	0: なし、1: あり (オストメイト対応なし)、2: あり (オストメイト対応あり)
	ベビーベッド	コード	0: なし、1: あり
	供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、供用開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
	供用終了時刻	文字列	供用時間制限のある場合、供用終了時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式は HH-MM
	供用制限曜日	文字列	供用曜日制限のある場合、供用しない曜日を記入。供用曜日制限のない場合、省略。曜日を数字に変換(1: 月曜日~7: 日曜日)し、複数曜日ある場合は数字の小さい順に続けて表記。

表 2. 7 指定避難所の情報

種別	項目名	形式	内容
指定避難所	施設 ID	文字列	施設 ID
	施設種別	コード	1：広域避難所、9：その他の避難所
	地区名	文字列	施設の所在地区名
	名称	文字列	施設の名称
	所在地	文字列	施設の所在地
	電話番号	文字列	施設の電話番号
	緯度経度桁数 コード	コード	1：1/10 秒単位、2：1/100 秒単位、3：1/1,000 秒単位のいずれか
	緯度	文字列	中心位置の緯度 小数点形式 (DD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	経度	文字列	中心位置の経度 小数点形式 (DDD° MM' SS" SSSS) とする (座標系は世界測地系とする)
	階層	文字列	階層数
	風水害対応	コード	0：不可能、1：可能
	多目的トイレ	コード	0：なし、1：あり (オストメイト対応なし)、2：あり (オストメイト対応あり)

### 2. 2. 3 施設データの作成方法とデータ形式

- (1) データは、「参考 歩行空間ネットワークデータの作成例」に示す表形式及びテキスト形式の様式を参照し、GML形式及びCSV形式で作成するものとする。
- (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）に基づき、生活関連施設として設定されている高齢者、障害者等が利用する機会の多い民間施設等についても、公共施設の一種等とし、データを作成するものとする。

**留意点：**

**施設データ更新の考え方**

改築をはじめ、バリアフリー化の推進等により、施設の実際と施設データとの差異が生じた場合は、施設データの再作成を行うものとする。

## 2.3 出入口情報の整備仕様

### 2.3.1 一般

本項は、公共施設等の出入口に関するデータの基本的な仕様を定めたものである。

### 2.3.2 対象とする施設および情報

対象とする施設は、2.2.2に示す公共施設等の出入口とする。

情報項目は、表3.1に示すとおりである。

表3.1 出入口情報

項目名	形式	内容
出入口 ID	文字列	出入口 ID
対応ノード ID	文字列	対応するノード ID を記入
対応施設 ID	文字列	対応する施設 ID を記入
出入口の名称	文字列	出入口の名称を記入（なお、出入口名称が無い場合には空欄とする）
出入口の有効幅員	コード	0：1.0m 未満、1：1m 以上 1.5m 未満、2：1.5m 以上 2.0m 未満、3：2.0m 以上、9：不明 （当該リンク内の最小有効幅員をもって評価する。）
扉の種類	コード	0：なし、1：自動ドア、2：自動ドア（押しボタン式）、3：手動式引戸、4：手動式開戸、5：回転ドア、6：その他のドア、9：不明
段差	コード	0：2cm 未満、1：2～5cm、2：5～10cm、3：10cm 以上、9：不明 （当該出入口内の最大段差をもって評価）

## 2. 4 描画地図の整備仕様

### 2. 4. 1 一般

「リンク」、「ノード」、施設データの位置関係や属性情報を、利用目的に応じてわかりやすく表示するため、基盤地図データ上に歩行空間ネットワークデータ、施設データを重ねて表示させた地図を「描画地図」という。

### 2. 4. 2 作成箇所

歩行空間ネットワークデータの整備対象地域内において作成する。

### 2. 4. 3 作成方法

- (1) 描画地図の縮尺は、原則として、基盤地図データの縮尺と同一とする。ただし、利用者の見やすさには、十分配慮するものとする。
- (2) 描画地図は、PDF形式で作成するものとする。
- (3) 描画地図の作成に当たっては、「参考 歩行空間ネットワークデータの作成例」を参照するものとする。

#### 留意点：

##### 描画地図更新の考え方

歩行空間ネットワークデータ及び施設データの更新がなされた場合は、更新されたデータをこれまでのデータと差し替え、描画地図データを再作成するものとする。

## **2. 5. 基盤地図データの整備仕様**

### **2. 5. 1 一般**

歩行空間ネットワークデータを用いて経路案内等のサービスを提供するに当たって、その基盤となる地図を「基盤地図データ」という。

### **2. 5. 2 作成箇所**

歩行空間ネットワークデータの整備対象地域内に存在する地下通路、駅通路等の屋内部及びペDESTリアンデッキ等の屋外部で、既存の基盤地図データがない箇所において作成する。

### **2. 5. 3 作成方法**

- (1) 歩行者等の通行に供される領域（自由通路、出入口、エレベーター、エスカレーター、階段等）と周辺施設（店舗、ランドマーク等）の面的な位置関係や大きさ等を表示する。
- (2) 基盤地図データは、GML形式で作成するとともに、描画された地図情報はPDF形式でも保存するものとする。
- (3) 基盤地図データの作成に当たっては、「参考 歩行空間ネットワークデータの作成例」を参照するものとする。

## 2. 6. 引用規格

ネットワークデータ及び施設データ作成時の GML フォーマット形式および属性データの文字コードについては、以下の規格を参照するものとする、

[1] SXF Ver.3.1

Scadec data eXchange Format Ver.3.1

[2] Extensible Markup Language (XML) 1.0 (Third Edition)

(W3C Recommendation 04 February 2004)

[3] JIS X 0208 附属書 1

Shift\_JIS

### 3. 各種データ作成に当たっての留意点

歩行空間ネットワークデータ作成にあたっての留意点を Q&A 形式で示す。

表 3. 1 歩行空間ネットワークデータ作成にあたっての留意点の分類と質疑事項一覧

分類	質疑事項
【歩道一般(定義)】	Q1 歩道と歩車共存道路の区別の考え方
【歩道の段差】	Q2 交差点の歩道と横断歩道との間の段差の評価方法
	Q3 歩道と車道のすりつけ部の評価方法
【有効幅員】	Q4 局所的な狭さく部を有する区間の有効幅員の評価方法
	Q5 歩車共存道路の有効幅員の考え方
【民有地、有料区域等との関係】	Q6 民間の土地が、歩道の一部のように使われている場合の対処方法
	Q7 プライベート空間等、自由な通り抜けではない箇所はの考慮方法
【属性情報①(視覚障害者誘導用ブロック)】	Q8 誘導ブロックの交差点部単独設置等の対処方法
【属性情報②(その他)】	Q9 歩車共存道路の「バス停」、「蓋のない溝、水路」の情報収集の方法
【属性情報③(緯度経度桁数コード)】	Q10 緯度経度の桁数の考え方
【ネットワーク形成①(リンク、ノード配置)】	Q11 一条線、二条線の区別方法
	Q12 地下街や公園等の広場に設定するリンクの考え方
	Q13 中央線の有無、歩道の有無(無、片側、両側)別のネットワークの作成方法
	Q14 一条線と二条線の交差点でのノード、リンクの形状
	Q15 一条線の道路上の横断歩道がある交差点のネットワーク形成方法
	Q16 橋梁部等の勾配の変化点でのノード設定
【ネットワーク形成②(重層構造)】	Q17 スロープ、階段両方のアクセス手段がある場合のネットワーク設定
	Q18 歩行空間ネットワークデータの次元設定(2次元?3次元?)
	Q19 ペDESTリアンデッキや歩道橋の「階層数」の情報、形状の考え方
	Q20 傾斜がある地域等での個々の建物のフロア情報(階層数)の考え方
【ネットワーク形成③(その他)】	Q21 施設入り口の考え方

## 【歩道一般（定義）】

Q 1：歩道、路肩にもいろいろな種類（白線のみ歩道、カラー歩道、側溝の蓋上の歩道など）がある。歩道と歩車共存道路の区別をどのように行うのか？

A：縁石や柵等の工作物で車道部と区切られている部分を歩道とし、工作物ではなく線や色分けで区分された部分を歩車共存道路とする。

※道路構造令では、歩道は「専ら歩行者の通行の用に供するために、縁石線又はさくその他の工作物により区画して設けられる道路の部分を用」と定義されている。

### 【歩道の例】



### 【歩車共有道路の例】



## 【2. 1. 2. 2リンクの種類】

### ア) 歩道

専ら歩行者の通行の用に供するために、縁石又はさくその他これに類する工作物により区画して設けられる道路の部分。

...

### エ) 歩車共存道路

縁石又はさくその他これに類する工作物により区画されていない道路。

なお、車両の通行が多く、歩行者を積極的に案内することが適切でないことがあるため、車両が多いと判断される場合は、表 2. 2. リンクに対して設定される経路情報の項目の「主な利用者」に「1」を記載する。

## 【歩道の段差】

Q 2 : 交差点の歩道と横断歩道との間に段差がある場合の段差の評価方法は？

A : 横断歩道リンクのリンク属性のうち項目「段差」に値を付与する。なお、リンク内に複数の段差がある場合は、最大段差にて評価する。

【表 2.2 リンクに対して設定される経路情報】

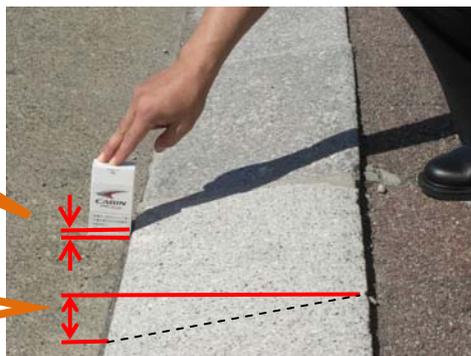
項目名	形式	内容
供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式はHH-MM
...	...	...
段差	コード	0:2cm未満、1:2~5cm、2:5~10cm、3:10cm以上、9:不明 (当該リンク内の最大段差をもって評価)
...	...	...
信号種別	コード	0:音響なし、1:音響あり、9:不明

Q 3 : 歩道が車道（交差点、横断歩道部等）にすりつけられているとき、どの位置で段差量を評価するか？また、傾斜部を含めたトータルの段差量が多い場合、段差として評価するか？

A : 車椅子通行上の支障とならないような傾斜部分は、段差量には見込まず、縁端部の段差量によって評価する。

段差あり→段差として評価

傾斜あり  
→車椅子の通行上の支障となれば  
段差として評価する。



**【有効幅員】**

Q 4：電柱、車止め等による局所的な狭さく部を有する区間の有効幅員はどのように評価するのか？

A：リンク属性項目の「有効幅員」について、車止めや電柱等の局所的な狭さくは、1.0m 未満の場合のみ評価する。

【表 2.2 リンクに対して設定される経路情報】

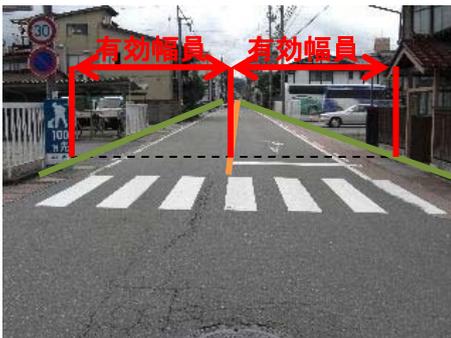
項目名	形式	内容
供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式はHH-MM
...	...	...
有効幅員	コード	0: 1.0m未満、1: 1m以上1.5m未満、2: 1.5m以上2.0m未満、3: 2.0m以上、9: 不明 (当該リンク内の最小有効幅員(放置自転車等の可搬物を除く)をもって評価する。ただし、電柱、車止め等による局所的な幅員の減少で、かつ1m以上の幅員が確保されている場合は 局所的幅員減少区間以外の最小有効
...	...	...
信号種別	コード	0: 音響なし、1: 音響あり、9: 不明



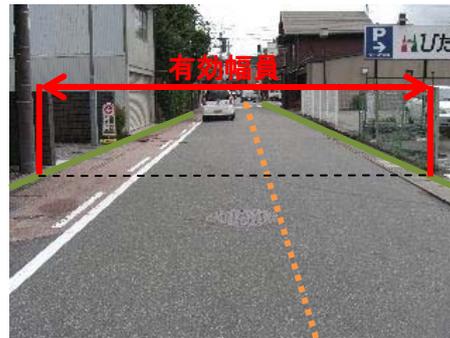
Q 5：歩道のない歩車共存道路の有効幅員の取り方は？車道を含めて評価してよいのか？

A：歩車共存道路においては、文字通り車道を含めて通行可能であるため、有効幅員も車道を含む幅員で評価する。

【中央線がある場合】



【中央線がない場合】



※有効幅員の取り方の詳細はQ 1 3の表を参照。

【民有地、有料区域等との関係】

Q 6：民間の土地が、歩道の一部のように使われている場合は、どのように対処すればよいか？

A：道路に隣接する民間の土地については、実際の利用状況を重視し、歩道幅員等の属性を設定する。



Q 7：プライベート空間や料金の支払いが必要な駅改札内の通路等、自由な通り抜けを前提としていない箇所はどのように考慮するのか？

A：リンクの属性を次の3つに分類し、サービスの目的に応じて通行の適否を考慮する。

- a) 自由に通行できる
- b) 通り抜けが好ましくない（※「プライベート空間」の通路）
- c) 料金の支払いが必要

※ b)の「プライベート空間」とは、マンション・団地等の敷地内である住民専用の通路を指す。

【表 2.2 リンクに対して設定される経路情報】

項目名	形式	内容
供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式はHH-MM
...	...	...
通行条件	コード	0:自由に通行できる、1:通り抜けが好ましくない(プライベート空間)通路、2:料金の支払いが必要、9:不明
...	...	...
信号種別	コード	0:音響なし、1:音響あり、9:不明

【属性情報①（視覚障害者誘導用ブロック）】

Q 8：視覚障害者誘導ブロックが、交差点部に単独で設置されている場合、どのようにすればよいのか？

A：視覚障害者誘導ブロックの敷設方法は一律ではなく、判断に困る場面が想定されることから、「交差点、占用物の周囲のみ敷設（危険箇所等の注意喚起が可能）」されているもの等については、「視覚障害者誘導ブロックの敷設無し」として設定する。

【表 2.2 リンクに対して設定される経路情報】

項目名	形式	内容
供用開始時間	文字列	供用時間制限のある場合、サービス開始時刻を記入。供用時間制限のない場合、省略。形式はHH-MM
...	...	...
視覚障害者誘導用ブロック	コード	0:視覚障害者誘導用ブロックの設置なし 1:縦断方向に敷設され視覚障害者の誘導が可能、9:不明
...	...	...
信号種別	コード	0:音響なし、1:音響あり、9:不明

【属性情報②（その他）】

Q 9：歩車共存道路の「バス停」、「蓋のない溝、水路」は両脇の情報を収集するのか？片側のみに有る場合、どのように設定するのか？

A：歩車共存道路のバス停、蓋のない溝、水路等は両脇の情報を収集し、片側のみに有る場合も「あり」とする。

【属性情報③（緯度経度桁数コード）】

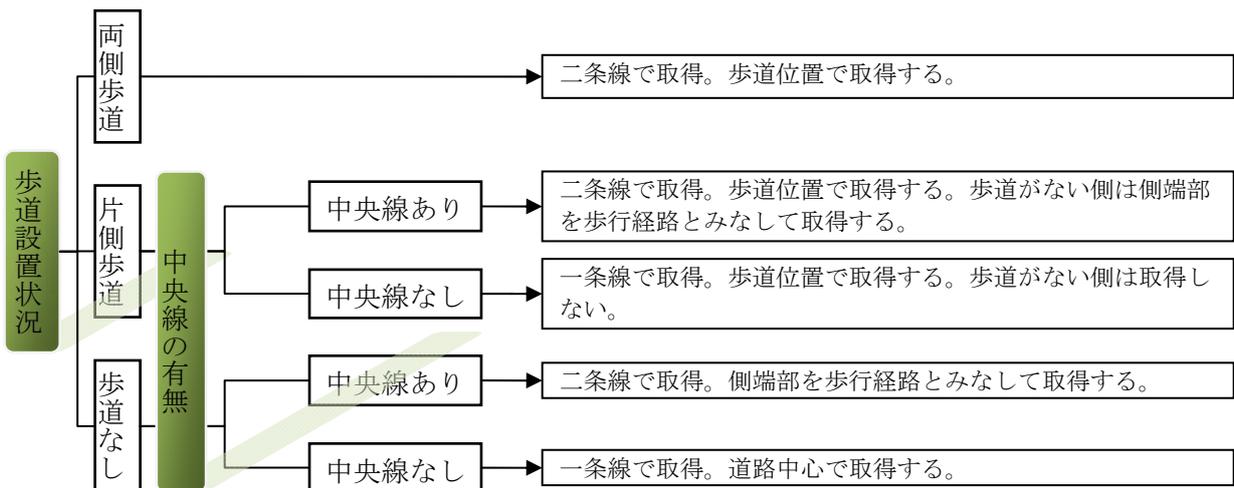
Q 10：ノード等の緯度経度の桁数は、どれを用いることが適切か？

A：原則として、1/100（30cm 程度）秒単位とし、場合によっては、1/10 秒単位を用いても構わない。歩行空間ネットワークデータの位置精度は、提供サービスを勘案した精度を確保することを基本とする。ただし、多様な主体がデータ作成に関わりやすいよう、ノード位置等を紙の図面で管理できるなどの配慮をすることが望ましい。

【ネットワーク形成①（リンク、ノード配置）】

Q 11：一条線、二条線の区別の仕方は？

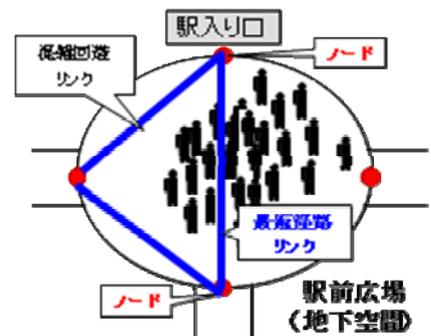
A：歩行空間は、原則として二条線により取得する。歩道が設置されている場合は当該歩道上の経路を取得する。歩道のない場合は側端部を歩行経路とみなして取得する。ただし、中央線がない歩車共存道路については、一条線により取得し、道路の中心線を取得するものとする。



Q 12：地下街や公園等の広場に設定するリンクの考え方は？

A：広場のノード間の導線を最短で結ぶリンクと、混雑を回避する観点からのリンクの2系統を設定することとする。

頻繁に活用される公共施設や空間内の経路についても、漏れなくリンクとして設定する。また、設定したリンクの曜日や時間帯による利用制限についても確認を行うものとする。



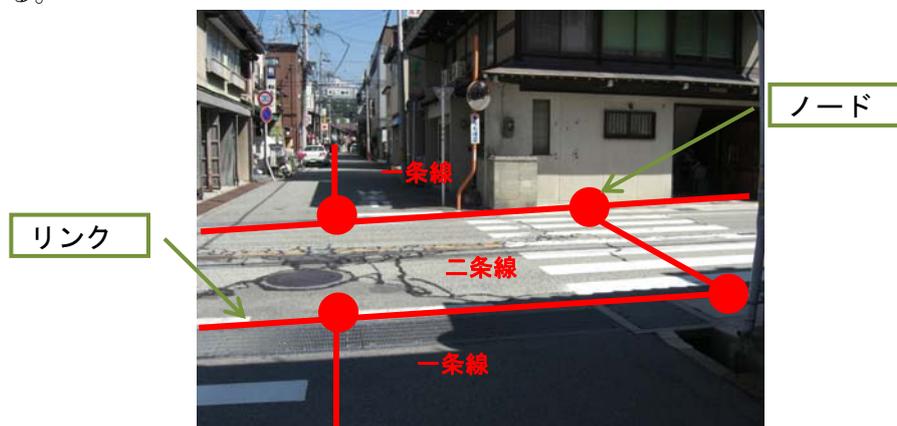
Q13：中央線の有無、歩道の有無（無、片側、両側）別に、歩行空間ネットワークの作成方法を教えて欲しい。

A：次の表の通りとする。

番号	分類			ネットワークの作成方法			
	歩道	中央線	概略図	条数	区分	取得位置	有効幅員
1	両側	有		2	歩道	歩道部	歩道有効幅員
2	両側	無		2	歩道	歩道部	歩道有効幅員
3	片側	有		1	歩道	歩道部	歩道有効幅員
				1	歩車共存	測端部	中央線～側端部
4	片側	無		1	歩道	歩道部	歩道有効幅員
5	無	有		2	歩車共存	側端部	中央線～側端部
6	無	無		1	歩車共存	中心	左端部～右端部

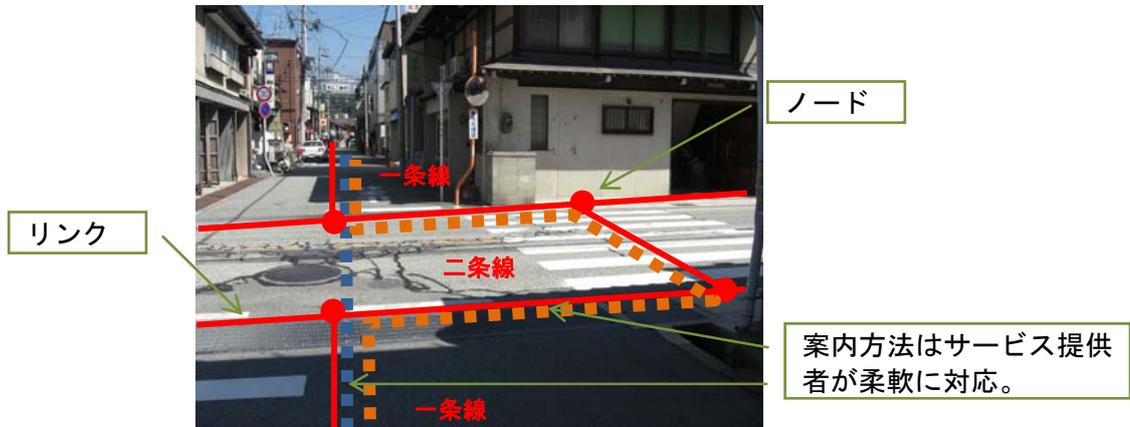
Q14：一条線と二条線の交差点でのノード、リンクの形状はどのようになるのか？

A：二条線の道路と一条線の道路（中央線がない歩車共存道路）との交差点では、横断歩道上にノードができる。



Q 1 5 : 一条線の道路上の横断歩道がある交差点では、一条線のリンクを結ぶ最短ルートではなく、横断歩道上を通行するようにネットワークを形成しないといけないのか？

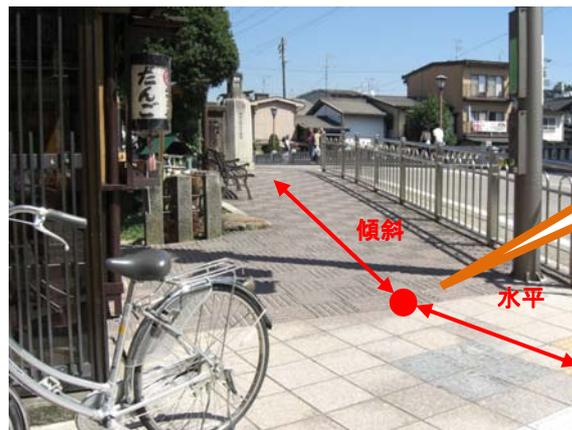
A : 下図のとおり歩道空間ネットワークを構築する。案内方法はサービスの目的に応じて柔軟に対応してよい。



Q 1 6 : 橋梁部などで勾配の変化点がある場合は、ノードが必要か？

A : 勾配変化点では、ノードを設定する。

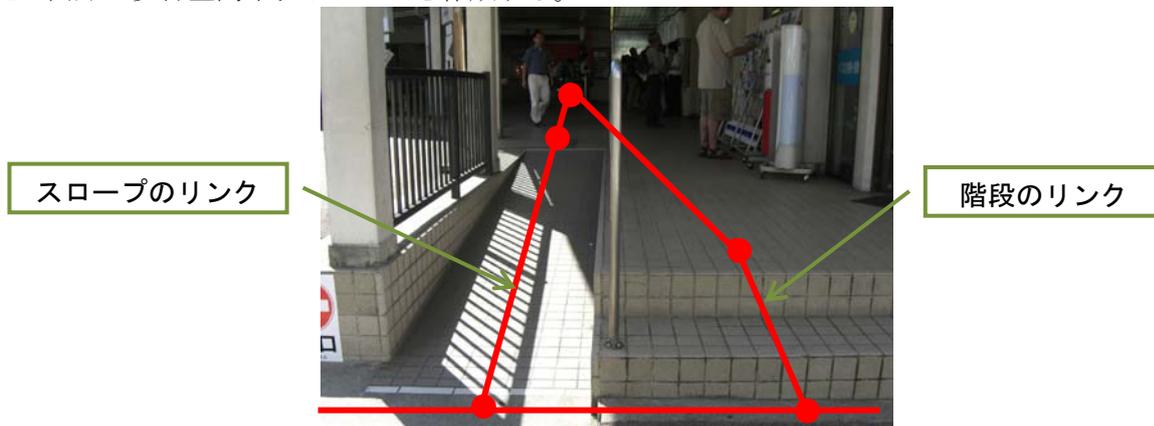
スロープの起終点、  
構造物の変化点、  
上り下り等の  
縦断勾配の変化点、  
おどり場の  
変曲点等の勾配が  
変化する箇所では、  
ノードを設定する。



### 【ネットワーク形成②（重層構造）】

Q 1 7 : スロープ、階段両方のアクセス手段がある場合、両方の歩行空間ネットワークを設ける必要があるか？

A : 両方の歩行空間ネットワークを作成する。

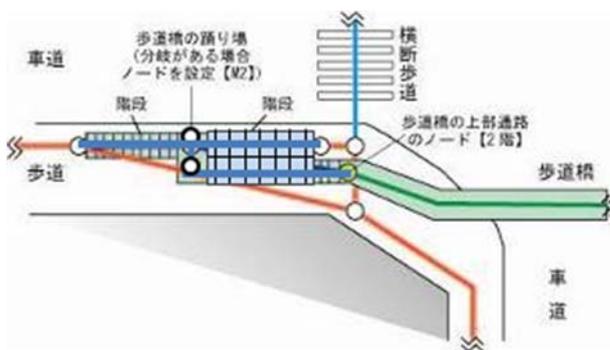


Q18：歩行空間ネットワークデータは2次元か？3次元か？

A：ノード属性に高さ（階層数）は持たせるが、データ上はZ座標が無いため2次元となる。

Q19：ペDESTリアンデッキや歩道橋についても「階層数」の情報を付与するのか？ また、ペDESTリアンデッキや歩道橋の形状については、現状に即したものとするのか？

A：ペDESTリアンデッキや歩道橋にも「階層数」を付与する。また、ペDESTリアンデッキや歩道橋は、ユーザに誤った方向案内を行わないようにすることに留意して、現状に即した形状で取得する。



Q20：傾斜がある地域では、同一経路を歩いていっても、建物の入口が1階になったり、地下1階や2階になったりすることがある。個々の建物のフロア情報（階層数）は、個々の建物で定められている階層通りに取得することでよいのか？

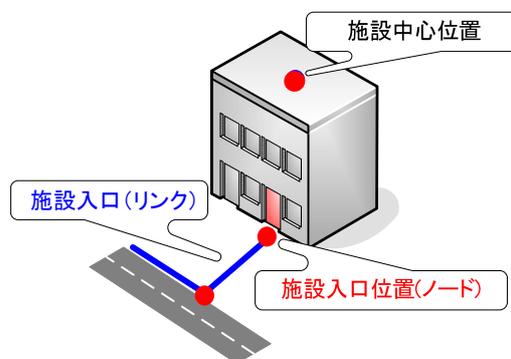
A：建物施設内の「階層数」については、個々の建物の階層通りに付与する。

### 【ネットワーク形成③（その他）】

Q21：施設データの入口の設定どう考えたらよいか？

A：「表2. 6. 公共用トイレの情報」及び「表2. 7 指定避難所の情報」の入口については、特定経路等の通りに面する施設入口とする。

「表2. 4. 公共施設の情報」及び「表2. 5. 病院の情報」の入口については、施設正面入口及び特定経路等の通りに面する施設入口とする。





～ 参 考 資 料 ～

歩行空間ネットワークデータの作成例

## 参考 歩行空間ネットワークデータの作成例

リンク情報の表現例を参考表 1 及び参考図 1 に、ノード情報の表現例を参考表 2 及び参考図 2 に、施設情報の表現例を参考表 3～6 及び参考図 3～6 に示す。

また、描画地図及び歩行空間ネットワークデータ利活用イメージを参考 3～4 に示す。

## 参考1 ネットワークデータ

参考表1 表形式での表現例（リンク情報）

付与区分	調査年月日	提供者	リンクID	起点ノードID	終点ノードID	経路の種類	供用開始時間	供用終了時間	供用開始日	供用終了日	供用制限曜日	方向性	通行条件	有効幅員	縦断勾配	路面状況	段差	階段段数	手すり	屋根の有無	蓋のない溝や水路の有無	バス停の有無	視覚障害者誘導用ブロック	扉	補助施設の設置状況	エレベーターの種類	信号の有無	信号の種類
1	yyyy mm dd	*	*****	*****	*****	**	hh-mm	hh-mm	yyyy mm dd	yyyy mm dd	*****	*	*	*	*	*	*	**	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
(記入例)																												
1	2008 07 30	1	00001	00001	00002	01						0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0		0	
1	2008 07 30	1	00002	00001	00003	05						0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1	0
1	2008 07 30	1	00003	00002	00004	14						0	0	2	3	0	3	14	1	1	0	0	1	0	2		0	
1	2008 07 30	1	00004	00002	00004	13	05-00	24-00	2008 12 01			1	0	1	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	1		0	
1	2008 07 30	1	00011	00011	00012	13	10-00	21-00			3	1		1	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0		0	
1	2008 07 30	1	00013	00013	00014	10	05-00	24-00				0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	3	0	

27

参考図1 テキスト形式での表現例（リンク情報）

<p>付与区分, 調査年月日, 提供者, リンク ID, 起点ノード ID, 終点ノード ID, 経路の種類, 供用開始時間, 供用終了時間, 供用開始日, 供用終了日, 供用制限曜日, 方向性, 通行条件, 有効幅員, 縦断勾配, 路面状況, 段差, 階段段数, 手すり, 屋根の有無, 蓋のない溝や水路の有無, バス停の有無, 視覚障害者誘導用ブロック, 扉, 補助施設の設置状況, エレベーターの種類, 信号の有無, 信号の種類</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00001, 1, 2, 1, . . . . ., 0, 0, 3, 0, 0, 0, 0, 0, 1, 0, 1, 1, 0, 0, ., 0</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00002, 1, 3, 5, . . . . ., 0, 0, 3, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, ., 1, 0</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00003, 2, 4, 14, . . . . ., 0, 0, 2, 3, 0, 3, 14, 1, 1, 0, 0, 1, 0, 2, ., 0</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00004, 2, 4, 13, 05-00, 24-00, 2008 12 01, ., 1, 0, 1, 3, 0, 3, 0, 1, 1, 0, 0, 0, 0, 1, ., 0</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00011, 11, 12, 13, 10-00, 21-00, ., 3, 1, ., 1, 3, 0, 3, 0, 1, 1, 0, 0, 0, 0, ., 0</p> <p>1, 2008 07 30, 1, 00013, 13, 14, 10, 05-00, 24-00, ., ., 0, 0, 1, 3, 0, 0, 0, 1, 1, 0, 0, 1, 2, 0, 3, 0,</p>
--

### ※解説

リンク ID	解説
00001	バリアのない歩道。バス停の設置あり
00002	信号制御（音声信号なし）された交差点の横断歩道
00003	階段
00004	リンク 00003 に併設されるエスカレーター。車イス利用者補助施設付き（車イスステップ付きエスカレーター）。2008 年 12 月 1 日より供用。夜間について利用制限。
00011	供用時間及び曜日に制限のあるエスカレーター。商業施設等建物内を想定。
00013	供用時間に制限のあるエレベーター。ペDESTリアンデッキ等の屋外を想定。

※リンク ID は調査職員の指示によるものとする。

参考表 2 表形式での表現例（ノード情報）

付与区分	調査年月日	提供者	ノードID	緯度経度桁数 コード	経度	緯度	高さ	接続 リンクID -1	接続 リンクID -2	接続 リンクID -3	接続 リンクID -4	接続 リンクID -5	接続 リンクID -6
1	yyyy mm dd	*	*****	*	DDD.MM.SS.ss	DD.MM.SS.ss	*	*****	*****	*****	*****	*****	*****
(記入例)													
1	2008 07 30	1	00001	2	139.44.48.8235	35.39.53.3454	1	00001	00002	00124	00036		
1	2008 07 30	1	00002	2	139.44.49.9223	35.39.56.3735	1	00001	00003	00004	00016		
1	2008 07 30	1	00003	2	139.44.48.5577	35.39.52.9547	1	00002	00003	00004	00121		
1	2008 07 30	1	00004	2	139.44.49.9645	35.39.56.5458	2	00003	00004	00005			

参考図 2 テキスト形式での表現例（ノード情報）

付与区分, 調査年月日, 提供者, ノード ID, 緯度経度桁数コード, 経度, 緯度, 高さ, 接続リンク ID-1, 接続リンク ID-2, 接続リンク ID-3, 接続リンク ID-4, 接続リンク ID-5, 接続リンク ID-6  
 1, 2008 07 30, 1, 00001, 2, 139.44.48.8235, 35.39.53.3454, 1, 1, 2, 124, 36, ,  
 1, 2008 07 30, 1, 00002, 2, 139.44.49.9223, 35.39.56.3735, 1, 1, 3, 4, 16, ,  
 1, 2008 07 30, 1, 00003, 2, 139.44.48.5577, 35.39.52.9547, 1, 2, 3, 4, 121, ,  
 1, 2008 07 30, 1, 00004, 2, 139.44.49.9645, 35.39.56.5458, 2, 3, 4, 5, ,

※解説

ノード ID	解説
00003~ 00004	エスカレーターを併設する階段(横断歩道橋)を想定 起終点は、厳密に言えば異なる地点であるが、階段・エスカレーターとも同一の起終点を接続するリンクとする。

※ノード ID は調査職員の指示によるものとする。

## 参考2 施設データ

参考表3 表形式での表現例（施設情報：公共施設）

付与区分	調査年月日	提供者	施設ID	名称	所在地	電話番号	緯度経度桁数コード	緯度	経度	階層	供用開始時間	供用終了時間	供用制限曜日	多目的トイレ
1	yyyy mm dd	*	*****				*	DDD.MM.SS.ss	DD.MM.SS.ss	*	HH-MM	HH-MM	*	*
(記入例)														
1	2008 07 30	1	20005	〇〇図書館	〇〇市〇町5-3-5F	000-000-0000	2	139.44.60.5226	35.39.49.2269	5	09-00	19-00	4	1
1	2008 07 30	1	20006	〇〇図書館	〇〇市〇町5-3-6F	000-000-0000	2	139.44.60.5226	35.39.49.2269	6	09-00	19-00	4	
1	2008 07 30	1	20007	〇〇公民館	〇〇市〇町2-6	000-000-0000	2	139.44.40.2245	35.39.60.4587	1	08-00	21-00		1

参考図3 テキスト形式での表現例（施設情報：公共施設）

付与区分, 調査年月日, 提供者, 施設 ID, 名称, 所在地, 電話番号, 緯度経度桁数コード, 緯度, 経度, 階層, 供用開始時間, 供用終了時間, 供用制限曜日, 多目的トイレ  
 1, 2008 07 30, 1, 20005, 〇〇図書館, 〇〇市〇町 5-3-5F, 000-000-0000, 2, 139. 44. 60. 5226, 35. 39. 49. 2269, 5, 09-00, 19-00, 4, 1  
 1, 2008 07 30, 1, 20006, 〇〇図書館, 〇〇市〇町 5-3-6F, 000-000-0000, 2, 139. 44. 60. 5226, 35. 39. 49. 2269, 6, 09-00, 19-00, 4,  
 1, 2008 07 30, 1, 20006, 〇〇公民館, 〇〇市〇町 2-6, 000-000-0000, 2, 139. 44. 40. 2245, 35. 39. 60. 4587, 1, 08-00, 21-00, , 1

### ※解説

施設 ID	解説
20005	ビル 5F~6F の図書館のうち 5F 分を想定。開館時間 9:00~19:00、休館日木曜、多目的トイレ（オストメイト対応なし）あり
20006	ビル 5F~6F の図書館のうち 6F 分を想定。開館時間 9:00~19:00、休館日木曜、多目的トイレなし
20007	公民館を想定。開館時間 8:00~21:00。休館日なし。多目的トイレ（オストメイト対応なし）あり

※施設 ID は調査職員の指示によるものとする。

参考表 4 表形式での表現例（施設情報：病院）

付与区分	調査年月日	提供者	施設ID	名称	所在地	電話番号	緯度経度桁数コード	緯度	経度	階層	診療科目	休診日	多目的トイレ
1	yyyy mm dd	*	*****				*	DDD.MM.SS.ss	DD.MM.SS.ss	*		*	*
(記入例)													
1	2008 07 30	1	30012	〇〇病院	〇〇市〇町1-1	000-000-0000	2	139.44.80.0364	35.39.02.3488	1	138	4	2
1	2008 07 30	1	30013	〇〇病院	〇〇市〇町1-1	000-000-0000	2	139.44.80.0364	35.39.02.3488	1	2	3	2

参考図 4 テキスト形式での表現例（施設情報：病院）

付与区分, 調査年月日, 提供者, 施設 ID, 名称, 所在地, 電話番号, 緯度経度桁数コード, 緯度, 経度, 階層, 診療科目, 休診日, 多目的トイレ  
 1, 2008 07 30, 1, 30012, 〇〇病院, 〇〇市〇町 1-1, 000-000-0000, 2, 139. 44. 80. 0364, 35. 39. 02. 3488, 1, 138, 4, 2  
 1, 2008 07 30, 1, 30013, 〇〇病院, 〇〇市〇町 1-1, 000-000-0000, 2, 139. 44. 80. 0364, 35. 39. 02. 3488, 1, 2, 3, 2

※解説

施設 ID	解説
30012	内科、外科、その他診療科ありの病院を想定。木曜休診。多目的トイレ（オストメイト対応あり）あり
30013	施設 ID30012 と同一病院であるものの、小児科の休診が水曜の場合を想定。

※施設 ID は調査職員の指示によるものとする。

参考表5 表形式での表現例（施設情報：公共トイレ）

付与区分	調査年月日	提供者	施設ID	緯度経度桁数コード	緯度	経度	階層	男女別	多目的トイレ	ベビーベッド	供用開始時間	供用終了時間	供用制限曜日
1	yyyy mm dd	*	*****	*	DDD.MM.SS.ss	DD.MM.SS.ss	*	*	*	*	HH-MM	HH-MM	*
(記入例)													
1	2008 07 30	1	10001	2	139.44.72.3469	35.39.30.1142	1	1	0	0			
1	2008 07 30	1	10002	2	139.44.60.2457	35.39.25.0034	1	1	1	1	05-00	22-00	3

参考図5 テキスト形式での表現例（施設情報：公共トイレ）

付与区分, 調査年月日, 提供者, 施設 ID, 緯度経度桁数コード, 緯度, 経度, 階層, 男女別, 多目的トイレ, ベビーベッド, 供用開始時間, 供用終了時間, 供用制限曜日  
 1, 2008 07 30, 1, 10001, 2, 139.44.72.3469, 35.39.30.1142, 1, 1, 0, 0, , ,  
 1, 2008 07 30, 1, 10002, 2, 139.44.60.2457, 35.39.25.0034, 1, 1, 1, 1, 05-00, 22-00, 3

※解説

施設 ID	解説
10001	公園併設のトイレを想定。供用制限の時間・曜日なし。多目的トイレなし。ベビーベッドなし。
10002	公園併設のトイレを想定。供用時間 5:00～22:00、水曜日制限あり。多目的トイレ（オストメイト対応なし）あり。ベビーベッドあり。

※施設 ID は調査職員の指示によるものとする。

参考表 6 表形式での表現例（施設情報：指定避難場所）

付与区分	調査年月日	提供者	施設ID	施設種別	地区名	名称	所在地	電話番号	緯度経度桁数 コード	緯度	経度	階層	風水害対応	多目的トイレ
1	yyyy mm dd	*	*****	*					*	DDD.MM.SS.ss	DD.MM.SS.ss	*	*	*
(記入例)														
1	2008 07 30	1	40030	1	〇〇地区	□□中学校	〇〇市〇町2-3	000-000-0000	2	139.44.40.2304	35.39.60.4222	1	1	1
1	2008 07 30	1	40031	9	〇〇地区	□□集会所	〇〇市〇町1-3	000-000-0000	2	139.44.80.4456	35.39.50.2467	1	0	0

参考図 6 テキスト形式での表現例（施設情報：指定避難場所）

付与区分, 調査年月日, 提供者, 施設 ID, 施設種別, 地区名, 名称, 所在地, 電話番号, 緯度経度桁数コード, 緯度, 経度, 階層, 風水害対応, 多目的トイレ  
 1, 2008 07 30, 1, 40030, 1, 〇〇地区, □□中学校, 〇〇市〇町 2-3, 000-000-0000, 2, 139. 44. 40. 2304, 35. 39. 60. 4222, 1, 1, 1  
 1, 2008 07 30, 1, 40031, 9, 〇〇地区, □□集会所, 〇〇市〇町 1-3, 000-000-0000, 2, 139. 44. 80. 4456, 35. 39. 50. 2467, 1, 0, 0

※解説

施設 ID	解説
40030	指定避難所に指定された中学校を想定。多目的トイレ（オストメイト対応なし）あり。風水害対応あり。
40031	集会所を想定。多目的トイレなし。風水害対応なし。

※施設 ID は調査職員の指示によるものとする。

### 参考3 出入口情報

参考表7 表形式での表現例（出入口情報）

付与区分	調査年月日	提供者	出入口 ID	対応ノード ID	対応施設 ID	出入口名称	出入口の有効幅員	扉の種類	段差
1	yyy mm dd	*	*****	*****	*****		*	*	*
(記入例)									
1	2008 07 30	1	50001	00001	20007	中央出入口	3	0	0
1	2008 07 30	1	50002	00002	20007	南出入口	3	0	3

参考図7 テキスト形式での表現例（出入口情報）

付与区分, 調査年月日, 提供者, 出入口 ID, 対応ノード ID, 対応施設 ID, 出入口名称, 出入口の有効幅員, 扉の種類, 段差  
 1, 2008 07 30, 1, 50001, 00001, 20007, 中央出入口, 3, 0, 0  
 1, 2008 07 30, 1, 50002, 00002, 20007, 南出入口, 3, 0, 3

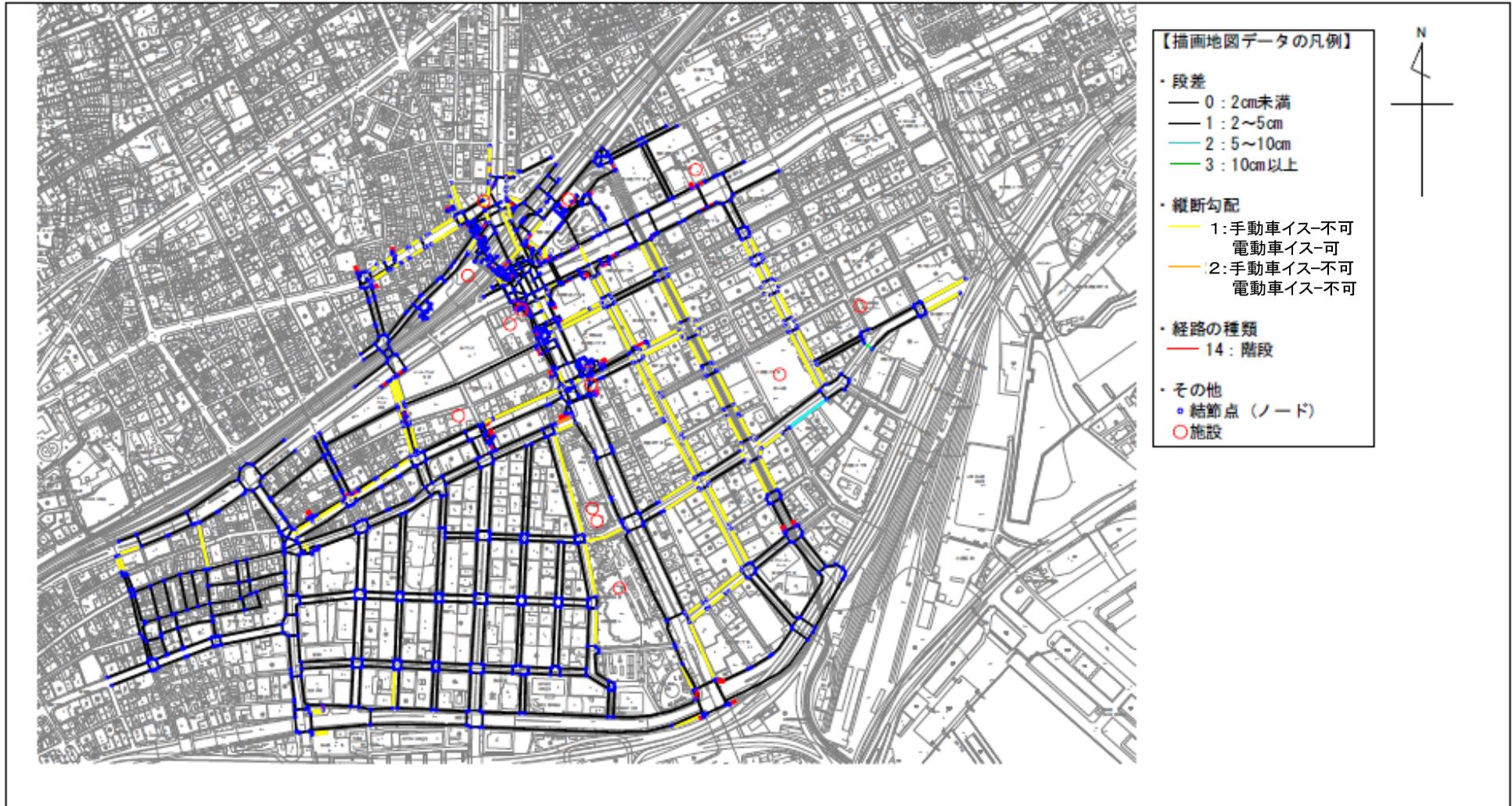
※解説

出入口 ID	解説
50001	複数の出入口を有する公共施設のうち中央出入口を想定。扉、段差なし。
50002	複数の出入口を有する公共施設のうち南出入口を想定。扉なし、段差あり。

※出入口 ID は調査職員の指示によるものとする。

## 参考4 描画地図

### 描画地図データ（屋外部）の作成例



※この地図は平成20年度実証実験用に作成したものである。現地状況等を踏まえ利用者の分かりやすさに配慮した工夫が必要である。

1:11000

